

## 地方独立行政法人青森県産業技術センター中期計画（案）に係る委員ご意見に対する検討結果について

### 1 数値目標を高め設定をすることについて

- ・数値目標を設定している項目について、現状をやや上回る値ではなく、もっと積極的な設定をしても良いのではないか。（豊川委員、服部委員、昆委員、佐々木委員長）

#### < 検討結果 >

全体に係る事項として、法人においても県と同様に人員適正化計画を立てることとしており、今後の職員数を削減しながら業務運営の効率化を図ることとしている。従って、目標値を達成するためにはこれまでの実績以上の努力が求められる状況にあることを前提に検討したものである。

#### (1) p - 3 製品等の開発・事業化を支援することによる製品化・実用化件数

80件 現行どおり

- ・実用化等には、景気や流行等の要因が大きく影響することから、過去の実績を目標値とする。
- ・各年度計画においては、経済動向を見ながら弾力的に目標値を設定していくこととしている。

#### (2) p - 4 生産事業者から依頼された試験、分析及び調査の実施件数

13,200件 現行どおり

- ・試験や分析依頼等は、景気や流行等の要因が大きく影響することから、過去の実績を目標値とする。
- ・各年度計画においては、経済動向を見ながら弾力的に目標値を設定していくこととしている。

#### (3) p - 4 生産事業者の抱える技術的な課題の解決のため技術相談や技術指導件数

11,300件 12,500件

- ・法人内に、現場の課題や技術相談等を巡回訪問により行う部門横断的な「企業・生産事業者訪問調査委員会」を設置し、積極的に対応していくこととする。
- ・また、研修会や研究発表会、技術展示会等の生産事業者との意見交換の場を設けることなどを通じて、過去の実績の10%アップを目標値とする。

#### (4) p - 5 生産事業者による設備・機器の利用件数

3,500件 現行どおり

- ・近年の景気低迷により、企業の投資意欲の減退や施設・機器の利用経費の節減等から、利用件数が減少してきている状況にあることから、過去の実績を目標値とする。
- ・各年度計画において、経済状況などを見極めながら、弾力的に目標値を設定していくこととしている。

(5) p - 6 普及させる研究成果や情報提供等

310件 現行どおり

- ・開発した技術情報は普及現場で活用されていくためには、実用性向上のための技術改良等も併せて行う必要がある。従って、情報提供に当たっては、現場での活用見込みが高い成果を選抜していくことが求められることから、過去の実績を目標値とする。

(6) p - 6 出願する知的財産件数

100件 現行どおり

- ・知的財産の出願は、出願経費やその維持費も嵩むことから、質の高いものに絞り込んで申請することとしている。なお、法人としては利用許諾の見込めない知的財産権は放棄するなど、保有件数は厳選していくこととしている。
- ・各年度計画において、取り組んでいる技術開発の見通しを適切に判断して弾力的に目標値を設定していくこととしている。

2 p - 8 -4-(3) 実用化・商品化の取組を積極的に進めることについて

- ・実用化・商品化について、強化する等もう少し積極的に進めて良いのでないか。  
(服部委員、佐々木委員長、昆委員)

「～略～、生産事業者や関係団体に対して積極的な利用を働きかけるとともに、成果の活用が想定される生産事業者と連携しながら、テストマーケティングや高付加価値化・ブランド化に取り組むなど、売れる商品化に向けた活動を推進する。」に修正。

3 環境公共の考え方をフォロー、または、その考え方を盛り込むことについて

- ・今まで、点で考えてきた様々な研究・調査を面で考えていくことも良いのでないか。  
(服部委員)

中期計画(案) p 2 - - 1 -(4)

「(4) 地球環境の保全に配慮した ～略～

循環型社会の形成を意識し、地球環境の保全や環境公共の推進に配慮した持続可能な産業活動を展開するため、次のような取組を行う。」に修正。

4 一般市民に対しても積極的に働きかける視点について

- ・専門の技術者、研究者などのほか、市民など専門家でない人に対して、積極的に働きかけていく視点が必要でないか。(服部委員)

中期計画(案) p 6 - - 3 -(4) で「県民に対しても情報発信する。」と記載のとおりであり、一般市民に対しては、参観デーや公開デーなどの機会を通じて、独法の取り組みをPRするほか、ホームページなどにより情報発信に努め、市民に親しまれる組織となるよう努めていく。

- 5 p-6・8 -業務運営の改善・ -財務内容の改善の表記、文章表現について  
・文章表現が分かりづらいことから、具体的に表現するよう内容を見直すべきでないか。  
(黒澤委員)

中期計画(案) p 6 - -1の表記

「 ~略~ 研究成果の活用場面を明確にし、コストパフォーマンスを高めるために選択と集中に努める。

効率的かつ効果的な業務運営を行うため、適切に業務の見直しを行う体制を整備する。

また、本部及び各研究所をオンラインで結び、各試験研究機関や部署間における情報の共有化とペーパーレス化を進める。」に修正。

中期計画(案) p 8 - -1の表記

「各試験研究機関を統合したスケールメリットを活かし、共通的事務の集約化により、消耗品費などの管理的経費を圧縮するとともに、研究費についても計画的かつ効率的な執行に努め、業務全般にわたり運営経費の節減を図る。」に修正。

## 6 その他の事項

### (1) 今後の法人運営の中で参考とする事項

中期計画の期間途中の見直しの検討(服部委員)

即戦力となる優れた人材の確保(豊川委員)

### (2) 字句の修正

p 9 - -6

「6 重要な財産の譲渡・担保計画

財務運営上必要としないことから、なしとする。」に修正。

p 9 - -1-(3)

「(3) 積立金の処分に関する計画

設立当初の積立金がないことから、なしとする。」に修正。